

過酸化水素低温ガス滅菌用  
過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌用

## バイオリジカルインジケーター

### 使用前のご注意

- ・有効期限をご確認ください。
- ・アンプルが無傷・紫色であること、ラベルのケミカルインジケーターが緑色であることをご確認ください。
- ・キャップの窓にテープやラベルを貼らないでください。
- ・滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- ・冷蔵保存の場合、室温にしてからご使用ください。

### 保管上のご注意

- ・2~25℃、RH 20%~80%で遮光保管してください。
- ・滅菌器や殺菌消毒剤から離れた場所に保管してください。

### 廃棄の際のご注意

- ・滅菌不十分と判定された使用済み及び期限切れの本品は、必ず滅菌処理(121℃、30分)を行った後廃棄してください。

## 操作手順

### 1 滅菌前

BIのラベルの空白箇所に滅菌管理上の必要事項(例:実施日時・箇所など)を油性ペンで記入し、BIを適切な滅菌袋などに入れ、所定の箇所に置き、滅菌をかけてください。  
**注意:**BIの上に被滅菌物が重ならないようにしてください。

### 2 滅菌後

ラベルのケミカルインジケーターが緑色から黄色に変色していることを確認し、滅菌袋を開けずにキャップをきちんと押し込んで閉めてください。



### 3 クラッシュ

滅菌袋から取り出し、芽胞紙片の位置がラベルの下にあることを必ず確認してから、クラッシャーを使ってアンプルを割ってください。  
(紙片がキャップの近くにある場合もあります。その際は指でBIの側面を軽く叩いて紙片をラベルの下に移動させてから、アンプルを割ってください。)  
**⚠️ 注意: 絶対にアンプルを手で割らないでください。作業時は怪我をしないように必ず保護メガネ・マスク・手袋を着用してください。**



### 4 染み込ませる

キャップを持ち、何回か軽く叩きつけて培養液を芽胞紙片に染み込ませてください。目視で染み込んでいることを確認してください。  
**⚠️ 注意: 必ずキャップを持って作業してください。怪我する恐れがありますので、ボディ部分を持って作業しないでください。**



### 5 培養開始

BIを垂直に保ったままインキュベーターに入れ、培養を開始してください。  
培養温度: **55~60℃**  
陽性コントロール: 滅菌処理をしていないBIのキャップを閉め、紙片の位置を確認してからアンプルを割り、同様にインキュベーターにて培養します。陽性コントロールは、使用毎に行ってください。



### 6 判定

**陰性** 培養液の色は紫色のまま変化なし⇒滅菌完全  
**陽性** 培養液の色は変化あり(紫色から黄色)⇒滅菌不完全  
陽性になる原因として次の3つが考えられます。  
①被滅菌物による影響 ②BIの培養手技の問題 ③滅菌器本体の問題



### 7 記録

培養液の色を観察し、24時間もしくは48時間後の結果を記録してください。